

発行所  
〒662-0096 西宮市角石町3-138  
甲陽学院同窓会  
編集人 高垣雄二郎

印刷所  
株式会社 小西印刷所  
西宮市今津西浜町2番60号  
TEL (0798) - 33 - 0691

同窓会事務局専用  
TEL 0798 - 71 - 4888  
(月・水・木 10:00~16:00)  
FAX 0798 - 71 - 4890  
甲陽ホームページ  
<http://www.kabto-yama.ac.jp/koyo/>

### 巻 頭 言

#### 会長 高 垣 雄 二 郎 ( 15 回 )

新しいミレニアムの幕開けを告げる西暦紀元2000年の新春を、皆様とともに迎える事ができましたことは、まことに慶びにたえません。新しい時代のはじまりを感じさせられますが、世界は時代の変革に伴う大きなうねりをみせています。

今世紀 - わが国は、農業社会から、19世紀に芽生えた科学文明による工業化社会を築いてきましたが、それにつづく情報化社会は、やがておとずれる21世紀へ向けての広がりを見せています。お隣の韓国でも、金大中大統領は「年頭の辞」で情報化社会の発展に呼応して、国家レベルで教育機関ならびにその関係者に、情報機能修得支援策を講ずると、述べています。

わが同窓会にも、既に情報機能を活用して、企業はいうまでもなく、親睦に、利便の向上に大いに活用している多くの会員がいます。これら情報機器の発展に伴い、「甲陽だより」の発行も情報化新時代に相応しいシステムに移行する日も、遠からずやってくるものと思っています。甲陽学院同窓会の発行する「甲陽だより」こそ、世に先駆けて実現を図ることが、私の夢であります。

さて本会も、まず事務局整備からはじまり、会員総意を会務執行に反映すべく、各種委員会をもうけました。委員各位は熱心に討議し、或いは実務に携わって戴きましたこと、厚く御礼申し上げます。本年度は「母校とともに歩む甲陽学院同窓会」をスローガンにかけ、成果をあげてまいりましたが、それもひとえに会員諸兄のご協力はいうまでもなく、法人ならびに学校当局の深いご理解の賜であります。

昨夏の会員総会開催に際しましては、同窓会設立の主旨に則り、「みんなで語ろう同窓会」のスローガンのもと、年代層を超越した楽しい会合となりました。学校創立時より今日まで、特別編集されたフィルムが、大きなスクリーンに映し出されたとき、それに見入って思い出を語る出席者に、多くの皆様は、感動された事でしょう。

どうか会員の皆様、あの感動を胸にいただいて、来る総会で再会する日を楽しみにして待ちましょ。う。



目 次	
21世紀を展望する .....	2・3
在校生クラブ活動 .....	4・5
会務報告 .....	6~8
告知板 .....	9
会員だより .....	10~13
サッカー .....	14
甲陽行進曲の歌詞について .....	15
校歌・応援歌 .....	16

未成年者の飲酒は禁じられています。お酒はおしこぐ適量。

**白鹿**  
辰馬本家酒造株式会社  
兵庫県西宮市鞍掛町6番20号

UVカット効果線カット瓶使用  
[容量] 450ml  
[アルコール度数] 15%  
[糖度] 10g/L  
※糖度は希釈小売標準消費量別です。

971円

清酒 特選黒松白鹿特別本醸造山田錦70%  
味、まろやかにして、香よく、コク深し。  
白鹿伝承の技で醸した逸品です。  
そして、名水「宮水」。  
100%使用。  
特別契約栽培されたこの酒米を  
「白鹿会」加盟農家で

酒造りに最も適した  
酒米のひとつである山田錦。  
兵庫県東播磨地区の  
山田錦の自給使用

# 21世紀を展望する

## ユートピア幻想と絶縁する

桃山学院大学社会学部教授 鈴木 博信 (34回)

「ユートピア」をかかげたい・かつぎたいという欲求からも、「革命」による「天下ご一新」の快楽をチラつかせてユートピアをかつがせたがるエセ予言者への信従からも、きれいサッパリと手を切ること。なすべきは、それぞれの受持ち=「現場」において、日々の「たえざる革新」につとめることにつくる。-21世紀には、そのような、「ユートピア」幻想との最終的絶縁を覚悟した人がふえるであろうし、断然ふえてほしい、と考えます。去りゆく20世紀が今なお実証しつづけているもっとも重要な教訓のひとつ、それは、なべての「ユートピア」幻想、とりわけ「我に義あり」と自認するインテリたち=書記たちが「人民大衆のために」という名分をかかげて実施・強行する「ユートピア」幻想のおそろしさ、犯罪性にほかならないからです。

古代では貴族から、中世では領主から、現代では資本家から搾取されている勤労大衆を社会の真の主人公へと押しあげる「地上天国」建設の法則・方法はわれわれだけが知っている、とマルクス・レーニン主義者たちは信

じていました。生々展開してやまぬ巨大な宇宙知の前で己をむなしくするどころか、おのが認識・知性を科学的真理と信じこむのですから、これこそ「迷信」です。疑似信仰とすら言えません。なぜなら、信仰とは、自分は知らないことを知っているという「真の知識」に他ならないからです。ユダヤ民族をひきいて出エジプトしたモーゼは、約束の地カナンへ行く道を知りませんでした。自分は知らない以上、ことごとくに神に聴従するしかない。現場から、真の現実から聴き続けるほかにない。そのことをモーゼは知っていたのです。

迷信を万人に受け入れさせることは不可能です。さればこそ、一党支配の帝国は、秘密警察によって裏打ちした「恐怖」を基本的統治手段とすることでのみ、成立しえたのです。(戦前にいち早く、「あらゆるイズム(～主義)を排すべし」「イズミスト無用」と喝破してやまなかった大ジャーナリスト、長谷川如是閑翁の意見には、今さらながら頭が下がります。ちなみに、モスクワ、北京から一時はブノンペンまで展開した「ユートピア」帝国が圧殺した犠牲者の数は、控えめに見ても8,500万人を下らないことが明らかにされています。『共産主義黒書』〔パリ、1997年；ケンブリッジ、ロンドン、1999年〕参照

## 遅れず焦らず

新日本海フェリー 社長 入谷 泰生 (46回)  
日本クルーズ客船

新しい年2000年も心配した混乱もなく明けましたが、皆様におかれましてもそれぞれ新たな思いをもって新年を迎えられたことと思います。

私も今年は仕事の上で懸案事項に早く目途をつけねばならないと、気を引き締めています。

社内に対する年頭の挨拶で、今年はネットワークとスピードの年だと言う話をしたのですが、最近の携帯電話とインターネットの普及はすさまじいものがあります。なにせ飲み屋の女の子(尤も若い子ですが)たちがインターネットをはじめの時代ですから…。

実はこの原稿も編集委員の西村君より急遽ピンチヒッターを頼まれ出張先の北海道からE-メールで送るので何とか締め切りに間に合いそうです。

このようにインターネットによって距離と時間、階層

や年齢を超えて均一な情報が得られるようになりました。これは世界的な現象であり、その結果社会はグローバル化し、情報の共有化が進むわけですが、決してグローバルスタンダードというわけではありません。

グローバルな(といってもアングロサクソンアメリカ的な)ルール、スタンダードなツールができるというだけで、その中で重要になってくるのはそれぞれの価値観と個性だと思います。

いかにこの変化とスピードに乗り遅れないで、しかも自分自身を見失うことなく生きて行くかということが求められているのではないのでしょうか。

そういう意味で今こそ「ゆとり」が求められている時代ではないのでしょうか。

今年も私は自分のゆとりは忘れて、人様のためにゆとりある時間、船旅の提供に全力をあげていくつもりです。

忙しい人はフェリーで一泊、暇な人は豪華客船で世界一周などいかがでしょうか。

## 21世紀の病院

徳島大学医学部附属病院医療情報部副部長  
徳島大学医学部附属病院講師 近藤 博史 (56回)

私は大学卒業後、内科、放射線科から現在、病院の情報化を推進する医療情報部に身を置くものとして、病院の情報化について現状から近未来について述べます。

画像診断機器の変化は大きく、検診で撮影される胸部写真、大腸ガンの透視検査の透過X線画像は平板状のX線センサーの開発により直接デジタル画像として取り込まれフィルム現像が不用になってきます。超音波、CT、MRI (核磁気共鳴画像)などの機器は時間、空間分解能が向上し、機能的な情報も立体的に与えてくれるようになってきています。

これらの診療情報は数十から数百MBのデータ量になり、病院情報システムは最先端のネットワークを必要としています。また、患者プライバシーの問題から、最先端のセキュリティ技術が使われます。

3次元データの病院内への供給は、脳や肝臓の手術のナビゲーションシステム、整形外科手術後のシミュレ-

ーションを可能にし、バーチャルリアリティーを用いた外科医教育にも使われます。内視鏡手術は腹腔鏡下胆嚢摘出術から始まりましたが、胸腔鏡下肺手術から乳房など腔を持たない臓器にも適応を広げ、一般手術に比し侵襲が少なく増えていくものと考えます。

癌や血管閉塞に臨床試験の開始された遺伝子治療は手術さえも無くす可能性があります。

一方、病院を取り巻く環境はたいへん厳しく、保険費の引き締めにより効率化が強く要求され、情報開示に基づく競争の時代になってきています。診療内容についても個人の経験だけではなく広く情報検索し、証拠に基づく医療(EBM)の推進が叫ばれ、クリティカルパスと呼ばれる診療支援が病院情報システムに必要ななってきています。

また、医療機関の連携による医療の効率化、サービスの向上が叫ばれ、これらの推進には病院内での診療情報の電子化が不可欠で、昨年厚生省も認めるところになり、いっそう情報化は進むものと思われます。私の年代にとっては宇宙船スタートレックの時代に近づいてきた感があります。

## 「教育改革」で学校歴社会は変わるか

甲陽学院高等学校教諭 今 西 昭 (57回)

中央教育審議会は、「ゆとり」の中で子どもたちに「生きる力」を育むことを提言(96年)、さらに教育における形式的な平等の重視から個性尊重への転換をうたって大学入試の改善を求めた(97年)、いわゆる「教育改革」の方向が示されたのである。大学に対して答申は次のように求める。学力試験偏重の入試を改め、出身高校の調査書・小論文・面接・実技検査・推薦文を活用せよ。さらに単位互換・編入学・社会人入学などを拡大せよ。そして社会に対して次のように求める。世の親は、学校歴神話から覚醒せよ。企業は、学校歴より学習歴を重視し、能力主義による採用・昇進に努めよ。これら「教育改革」を実現するため、2002年から完全学校五日制が導入され、高校では2003年から教育課程が改正される。一方で、少子化により2009年までには大学志願者数が大学総定員を下回る、「大学全入」時代がやってくる。果たしてそれで学校歴社会=受験地獄はなくなるのだろうか。

学校歴神話は簡単には崩れない。多くの大学では実質的に入試がなくなるが、一部人気ブランド大学では厳しい受験競争が続く。これが定説だろう。しかし意外な形で学校歴社会は変わるかもしれない。受験生自身の変化によって。少子化=過保護、情報の断片化とヴィジュアル

ル化の中で、受験生の自ら考える力(生きる力)は低下の一途だ。自ら問題を発見し、自ら考え、自ら行動するような人材は希少だし、希少な彼ら(彼女ら)が人気ブランド大学に集中してくる保証はない。というのも「生きる力」は入試では計りがたいからである。そうすると企業も、学校歴による一括採用はできなくなるだろう。「生きる力」を持った希少な人材を、自前の入学試験や昇進試験で発掘せざるをえない。こうした労働力の流動化を背景に、長く信じられてきた学校歴神話は(教育改革によってではなく)あっさりと崩壊していくかもしれない。



《中高だより》

## クラブ活動の現況

母校のクラブはどうなっているだろうか、との関心をお持ちの同窓諸兄も多くいらっしゃると思います。『甲陽だより』では今号から3回に分けて、各部の現況について部員の声を紹介します。今回は高等学校から。



### アンサンブル部

「音楽と展覧の会」での発表を中心として活動しています。入学式・卒業式・体育祭等の行事にも演奏で活動をアピールしています。また、他校との親善を図るため、私学親善音楽会、西宮市高吹連定期演奏会、ジョイントコンサートにも積極的に参加しています。

「もっと上手になりたい!!」と生徒達から湧きあがった声により参加し始めた吹奏楽コンクールも10年目を迎え本年度は、高等学校小編成の部で西阪神地区大会・兵庫県大会に出場しました。

また、アンサンブル部OB会主催となる第3回甲陽ウインド・アンサンブルの夕べに出演し、先輩達との合同演奏の中に「これが甲陽のアンサンブル部の音楽」と、本来の音楽のもつ楽しさと、先輩達の優しさを部員一同が感じた演奏会もありました。

#### 活 動

- 3月 ジョイント・コンサート（神戸文化中ホール）
- 4月 中学（7日）高校（8日）入学式
- 5月 体育祭
- 7月 親善音楽会（阪神私学高等学校音楽連盟）・兵庫県吹奏楽コンクール
- 9月 音楽と展覧の会（23日）

#### 受 賞（1999年度）

- 兵庫県吹奏楽コンクール西阪神地区大会（高校小編成の部）最優秀賞（5年連続）
- 兵庫県吹奏楽コンクール（高校小編成の部）金賞（4年連続）



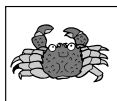
### グリー部

男声合唱部です。週2回の練習ですが、兵庫県の総合文化祭で阪神地区連合合唱団に参加しました。男声合唱は、甲陽の独壇場です。生徒主体のジョイントコンサートでも中心的な役割を果たしています。

顧問の先生方は、発声から姿勢の矯正まで丁寧に指導してくれます。和気藹々とした雰囲気です。和声を出すと楽しむ。そしてハーモニーが出来たら感動的。僕らは、クラシックからポップスまで歌います。そんな我々ですがさらに活動の場を広げるべく仲間を募集しています。

#### 活 動

- 音楽と展覧の会（講堂音楽会・ルームコンサート）
- 兵庫県総合文化祭（合唱団）
- ジョイントコンサート（西宮・芦屋・尼崎・宝塚の高校の合唱部による生徒主体のコンサート）

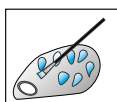


### 生物部

今年の生物部は、水質の調査や洗剤についての調査などの身近な事柄を検証して行く実験やプランリアの再生や神経細胞の観察、花の色素についての実験など、生物の謎を解き明かす研究といったいろいろな分野の研究を各自が行っています。

#### 活 動

- 9月音楽と展覧の会（23日）



### 美術部

「音楽と展覧の会」での発表を中心として活動しています。また、他校との親善を図るため、私学連合美術展、五私学美術展に参加することもあります。工作を中心に、コンピューター等の新しい媒体を使って表現する部員もあり、試行錯誤しながら制作しています。

## 公認会計士 渡邊功事務所

公認会計士/税理士 渡 邊 功（43回）

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目5番8号 HAC2階  
TEL (06) 6227-1045 FAX (06) 6227-1046  
E-mail : watanabwe@wit.ne.jp

## 高垣公認会計士事務所

公認会計士 高 垣 宗次郎（45回）

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目1番7号  
オリエント赤坂モートサイド1010  
TEL (03) 5413-7383



## 剣道部

剣道部は、部員19名で普段は4時から5時40分まで活動しています。時間は短いですが、実りのある練習を目指し筋肉トレーニングやラダートレーニングなど最新の方法を取り入れ近畿大会出場を目指しています。今年は2年生も含めると二段取得者が6名とメンバーも充実しており、上島、藤田、橋本の3先生が指導され、目標を遂げていきたいと考えています。

### 試合戦績

1999年度

- 5月 阪神地区高等学校剣道大会 第3位
- 6月 兵庫県総合体育大会剣道大会 3回戦敗退
- 8月 兵庫県民体育大会剣道大会 3回戦敗退
- 9月 兵庫県私立剣道大会 ベスト8
- 10月 阪神地区高等学校新人剣道大会 準優勝
- 11月 兵庫県高等学校新人剣道大会 3回戦敗退  
三校(関学・六甲・甲陽)剣道大会 第2位
- 2月 西宮市高等学校剣道大会(仁川学院)



## サッカー部

サッカー部は、現在部員31名(2年生15名・1年生16名)で普段は4時から5時30分まで活動しています。

強いと言われながら(?)結果を残せず、5部に落ちた去年のくやしさをバネに、20世紀中に3部まで昇格することを目標にしています。

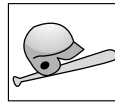
### 試合戦績

1999年度

- 3月 阪神地区高等学校サッカー大会春季リーグ戦  
4部残留(対猪名川6-2・対市尼崎1-2・  
対尼崎稲園3-0)
- 5月 高等学校総合体育大会兵庫県大会 4回戦敗退  
(2回戦 対播磨南1-0・3回戦対 高砂  
3-0・4回戦 对小野0-1)
- 6月 灘・甲陽定期戦4-1にて甲陽の勝利

8月 高等学校サッカー選手権大会阪神予選リーグ  
予選リーグ敗退(対西宮甲山1-2・対伊丹北  
0-3・対西宮北1-1)

11月 阪神高校サッカー秋季リーグ戦 4部Bブロック  
5部降格(対県西宮0-2・対武庫工業1-  
1・対尼崎東1-3)



## 野球部

野球部は、現在部員26名(3年生7名・2年生5名・  
1年生14名)で普段は4時から5時30分まで活動してい  
ます。練習試合も年間十数試合こなしています。

### 試合戦績

1999年度

- 4月 春季県大会西阪神地区予選(対猪名川6-2・  
対市尼崎1-2・対尼崎稲園3-0)
- 5月 西宮市民大会4回戦敗退(2回戦 対播磨南1  
-0・3回戦 対高砂3-0・4回戦 对小野  
0-1)
- 7月 夏季県大会第81回全国高等学校野球選手権兵庫  
大会 2回戦敗退(1回戦 対市神戸工7-  
4・2回戦 対社0-6)
- 8月 秋季西阪神地区大会県大会出場決定(1回戦  
対西宮北4-8・敗者復活戦 対宝塚5-3・  
2回戦対 西宮甲山10-9・3回戦 対西宮北  
8-7)
- 9月 秋季県大会1回戦敗退(1回戦 対明石南コー  
ルド負け)
- 11月 阪神間私学大会  
今年度の公式戦は、すべて終了しました。

本頁の内容については甲陽学院のホーム・ページでも  
写真入りでご覧になれます。

HPアドレス <http://www.koyo.ac.jp>

## 杉田公認会計士事務所

公認会計士/税理士 杉田 一 弥(56回)

〒550-0013 大阪市西区新町1丁目8番6号 三愛ビル  
TEL(06)6541-8331(代) FAX(06)6541-1684

## 中務公認会計士・税理士事務所

公認会計士/税理士 中務 裕 之(57回)

〒541-0059 大阪市中央区博労町2丁目4番11号 中博ビル201  
TEL(06)6263-9939 FAX(06)6263-9959  
E-mail:naka44@osk.3web.ne.jp

# 会 務 報 告

平成11年12月末日までの会務報告を申し上げます。昨年1年間の同窓会の諸活動は、10年度に行った各委員会からの提言を纏め、理事会・役員総会で議論し、その承認を得まして、その諸施策の実施と会務の改善を行ってきました。これらは、云うは易く行に難しい問題ばかりでありました。特に財政の改革は、数字の上では健全化されたかに見えますが、その内実は新年度にさらに議

論し結論を出して、それを実行に移さなければならない諸問題を多く抱えています。そうは云っても、現実には同窓会活動は組織として活性化され、組織として活発に動けるようになったことは、役員並びに関係各位のご理解とご協力の賜ものであり、ここに真の感謝と御礼を申し上げます。

## 1. 会員総会、並びに諸会議等の活動報告について。

本年度・会員総会について。

- \* この8月に開催されました会員総会について、先ず数字の面からご報告を申し上げます。当日の出席者の総数は217名、同窓生の出席は205名となっています。例年は100名前後ですが、今回は100名余の増となっています。
- \* 収支の面では、会費収入が441千円で、収入総計473千円となっています。これに本年度の事業予算に計上しています500千円を組み入れまして、973千円が会員総会に使える収入面の金額となります。
- \* 一方、支出の面では、懇親会費用等が736千円と、会場設備並びに機器の賃借料などが222千円と、消費税等が124千円で、支出合計が1,082千円となりました。
- \* 収支を差引きしますと、109千円が支出増となり赤字となっています。この赤字の大きな要因は、今回は色々と電気設備、例えばプロジェクター・ビデオデッキ・カセットデッキ・ワイヤレスマイクなど、特殊な設備を要しましたが、支出増を招きました要因であります。この赤字の会計処理は、決算時に調整したいと考えています。
- \* 会員総会が終わりました後、会員総会運営委員会で反省会を開催し、会員総会の総括を行いました。その評価は、例年の講師を招いての講演ではなく、70周年・80周年のビデオを編集して、それを映写しながら各場面において、それぞれが抱く母校への熱き思い・仲間のこと・当時の出来事を、誰彼となしに全員がマイクを持って語り合ったことは、今までにないことで、これで同窓会は一つになった、皆の心が通い同窓会は一つの輪になれた、このことが今後の同窓会の活性化に繋がるのではないかとの評価を得ました。これと同時に、例年にない参加人員の増は、各委員や企画関係者の努力もさることながら、インターネットをとおして呼び掛けた効果は大きいものがあります。これからは、これの活用を研究し活発にしなければならぬと痛感しています。また、参加者から数々のお便り・お電話

を頂戴し、その全部の方々から今回の会員総会には興奮した、大成功だ、今後も期待しているとお言葉を頂戴しています。

各委員会・諸議会の開催状況について。

- \* 下記のとおり、各会議を持ってきました。特に各委員会につきましては、昨年度からの方針に従い、各委員会には出来る限り幅広い層から、また新風を期待して若手層をも起用するよう配慮をしてきました。これにより時代に即応した新鮮な多くのご意見や・お知恵を吸い上げることが出来るようになり、これを同窓会の事業活動に生かす努力を積み上げて参りました。これが本年度の新しい前進の源となっています。

1. 第1回・常務理事会(11, 4, 20.)
2. 第1回・会報編集委員会(11, 5, 7.)
3. 第1回・会員総会運営委員会(11, 5, 7.)
4. 第2回・会員総会運営委員会(11, 6, 2.)
5. 第2回・会報編集委員会(11, 6, 4.)
6. 第3回・会報編集委員会(11, 6, 30.)
7. 第4回・会報編集委員会(11, 7, 7.)
8. 会報編集委員会(11, 7, 16.)
9. 会報編集委員会(11, 7, 28.)
10. 会報編集委員会(11, 7, 29.)
11. 第3回・会員総会運営委員会(11, 7, 17.)
12. 第2回・常務理事会(11, 8, 9.)
13. 会員総会運営委員会(11, 8, 22.)
14. 会員総会運営委員会(11, 8, 27.)
15. 平成11年度・会員総会(11, 8, 28.)
16. 第4回・会員総会運営委員会(11, 9, 21.)
17. 第5回・会報編集委員会(11, 10, 27.)
18. 第3回・常務理事会(11, 11, 10.)
19. 平成11年度・理事会(11, 11, 30.)
20. 平成11年度・四者懇談会(11, 12, 10.)
21. 第6回・会報編集委員会(11, 12, 15.)

## 2. 同窓会会計の4～12月・収支報告について。

先ず、「表・No.1」であります。これは過去6年間年度の年会費と終身会費の収入状況表であります。平成6年度から9年度までの、会費入金状況と比較しますと、本年度は約2倍増となっております。10年度の大幅な伸びと比較しましても、今年3月末までには、恐らく10年度の2倍以上の数字になるものと推測しています。

〔表・No.1〕 過去年会費納入状況表( H6年度～H11年度分)

(単位:円)

	H6年	H7年	H8年	H9年	H10年	H11年
総収入	6,518,744	4,852,500	4,851,000	5,683,470	8,431,000	( 15,670,000 )
( 年会費 )	4,458,744	2,812,500	2,781,000	3,684,100	2,602件 5,472,000	( 1,430件 ) ( 3,934,000 )
( 終身会費 )					85件 899,000	( 641件 ) ( 11,736,000 )
( 新卒者 )	1,442,000	1,428,000	1,449,000	1,400,000	1,442,000	( 0 )
( 入会金 )	618,000	612,000	621,000	599,370	618,000	( 0 )

(註1) H6年度からH9年度までの年間費の数字は、終身会費も含まれています。(註2) H11年度分は、11年12月末日現在の数字です。

次に、平成11年度(12月末日現在)の収支状況であります。

〔収入の部〕		〔支出の部〕	
* 年 会 費 .....	3,934,000円	* 人 件 費 .....	1,521,520円
* 終 身 会 費 .....	11,736,000円	* 交 通 費 .....	2,040円
* 名 簿 .....	475,000円	* 需 要 費 .....	577,071円
* 広 告 .....	140,000円	* 会 議 費 .....	2,292,292円
* 総 会 会 費 .....	473,000円	* 事 業 費 .....	1,621,354円
* 利 子 .....	15,329円	* 雑 経 費 .....	326,922円
* 寄 付 金 .....	500,000円	* 予 備 費 .....	0円
* 雑 収 入 .....	650円		
収 入 合 計 .....	17,273,979円	支 出 合 計 .....	6,341,199円
		〔 差 引 収 支 〕 .....	10,932,780円

\* 以上が12月末日現在の収支状況であります。本年度の支出の予算額が、979万円(予備費・782万円を除く)を計上していますが、役員総会で承認を得ました同窓会活動の計画予定に従い、予算面の支出は予定どおり推移していますので、本年度の支出は予算の範囲内で収まるものと考えています。

\* ちなみに、この12月末日の現預金残高は、17,278千円となっております。

\* これについては、この3月末日の決算時には現預金残高が予測以上の高額になります。よって、過去数年度にわたり基本金を取り崩して、その年度の赤字補填を行っていますので、この補填分の補充を役員総会の承認を得まして行いたいと考えています。

\* 勿論、本年度は事業費の合理化と経費の軽減に知恵を搾り、特に会報の発行にあたり、会報編集委員会のご努力により、前年度に比較しまして、約50万円の経費

節減を行っています。これは印刷関係を見積入札にしたこと。更に、郵送料について、編集委員が一部を手作業で行うことにより、郵送料軽減の特例を生かしたことによりです。そのご苦労とご熱意に感謝を申し上げます。

\* このように、支出につきましては、出来る限りの合理化と経費の節減に努力を傾注し、貴重な財源の目減りを防いでいます。ただ、将来の同窓会業務の合理化・更なる経費の節減、そして将来の同窓会の発展と活性化に結びつきます。パソコン関係とインターネット関連の経費につきましては、予算を多少オーバーしましても、その充実を図るために、その設備や備品を整えて行きたいと考えていますので、これにつきましてはのご理解とご了承をお願い申し上げます。

\* 収入の部で、「寄付金」の科目を新設(会則には記載されている)しました。これの理由は、昨年8月に残

念なことですが、40回の小村倫弘氏がご病気で亡くなられ、ご遺族の方からのご連絡で、頂戴しました香典の一部を故人の希望で母校の同窓会に寄付をしたいとの申し出があり有難く頂戴しました。ただ、この寄付金を一般会計で処理するには、何か故人のご意志に背くような気がします。よって役員総会にご提案をしまして、特別会計を設けるなどして意義ある事業を考え、これを積み立てる制度を設けたいと考えています。

### 3. 同窓会財政の展望等について。

\* 事務局から、特にご理解を得たいことは、同窓会としまして初めて手持ちの現預金残高が、12月末現在で1,700万円と、かつてないほどの高額となっています。これを持って同窓会財政が健全化されたと考えてはいたしません。これは、あくまでも一過性のもので、来年度もこれだけの金額が確保される要因はありません。

\* その理由は、特に終身会費が1,173万円と高額な入金になっていますが、その内容を分析しますと、過去に年会費を毎年に亘り真面目に納付されていた方々が、本年度の終身会費制度の実施に伴い、終身会費納付に切り替えられています。と云うことは、終身会費の納付は今回これ1回限のもので、後は年会費も何も納付されることはありません。このことにより年会費の納付自体が、来年度から毎年に亘り激減していくものと考察しています。

\* 毎年の必要経費を、諸物価の上昇や社会一般の状況の変化等を考慮して、通常・800万円から900万円と推定すれば、せっかく納付して頂いた終身会費の金額を、年会費納付の減少に伴い、これを取り崩さざるを得なくなり、ひいては再び深刻な赤字財政を招くことになりかねません。

\* ここに同窓会財政の抜本的な改革と、財源確保の道を模索しなければならない要因があります。10年度の会務運営委員会からの懸案事項（年会費の増額、新卒者から終身会費制の適用等）として、その真剣な検討と抜本的な解決を答申されています。これが新年度には真正面に取り組まなければならない大きな課題と考えます。

### 4. 終身会費制度の特例等について。

\* 会報60号の会務報告にも記載していますが、終身会費制度の金額設定は12年度末までの特例であります。この間の金額設定〔表・No2参照〕には相当のメリットが付加されており、13年度からの年会費改定と、これ

〔表・No.2〕 終身会費・各回別金額設定表（単位：円）

回 生	金 額	回 生	金 額	回 生	金 額
1回	10,000	31回	10,000	61回	23,500
2回	10,000	32回	10,000	62回	24,000
3回	10,000	33回	10,000	63回	24,500
4回	10,000	34回	10,000	64回	25,000
5回	10,000	35回	10,500	65回	25,500
6回	10,000	36回	11,000	66回	26,000
7回	10,000	37回	11,500	67回	26,500
8回	10,000	38回	12,000	68回	27,000
9回	10,000	39回	12,500	69回	27,500
10回	10,000	40回	13,000	70回	28,000
11回	10,000	41回	13,500	71回	28,500
12回	10,000	42回	14,000	72回	29,000
13回	10,000	43回	14,500	73回	29,500
14回	10,000	44回	15,000	74回	30,000
15回	10,000	45回	15,500	75回	30,000
16回	10,000	46回	16,000	76回	30,000
17回	10,000	47回	16,500	77回	30,000
18回	10,000	48回	17,000	78回	30,000
19回	10,000	49回	17,500	79回	30,000
20回	10,000	50回	18,000	80回	30,000
21回	10,000	51回	18,500		
22回	10,000	52回	19,000	高商・1	10,000
23回	10,000	53回	19,500	高商・2	10,000
24回	10,000	54回	20,000	高商・3	10,000
25回	10,000	55回	20,500	高商・4	10,000
26回	10,000	56回	21,000	機械・1	10,000
27回	10,000	57回	21,500	機械・2	10,000
28回	10,000	58回	22,000	造船・1	10,000
29回	10,000	59回	22,500	造船・2	10,000
30回	10,000	60回	23,000	工業・1	10,000

に伴う終身会費の金額設定の改定を視野に入れれば、メリットの大きいこの機会に、より多くの方々に終身会費制度を活用して頂きたいとのお願いの期間（12年度末まで）でもあります。

\* 同窓会費の入金処理は、平成元年度分から入金をパソコンに入力して正確を期しています。よって終身会費を納付されても、平成元年度からの年会費が一部でも未納であれば、その未納の年会費は納付して頂くことになります。この年会費等の納付状況は、会報の封筒の宛名欄に記号化されて記載しています。この記号の解説は、次頁に解説をしていますので、ご確認を頂きたいお願い申し上げます。〔文責・有田（31回）〕



# 告 知 板

## 平成 11 年度役員総会開催のお知らせ

下記のとおり、今年度の役員総会を開催いたします。理事・評議員の方々におかれましては、ご多用中とは存じますが、同窓会の活性化のためにも、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時 平成12年3月23日(木)  
場 所 甲子園都ホテル  
議 題 平成11年度決算の承認の件  
平成12年度予算の承認の件  
役員改選の件  
その他

理事は、各回の代表一人。評議員は、各回の代表若干名で、各回の同窓生から選出された方々です。

## 広告掲載のお願い

昨年から会員の皆様方に「広告」の掲載をお願いしています。今回も一律2万円の掲載料です。皆様方のご好意をお待ちしています。広告料は、会報の増頁や近い将来のカラー頁の原資にさせていただきます。同窓会事務局までお申込み下さい。

\*原稿募集・広告掲載の締切日は、来年6月1日です。同窓会事務局まで郵送、若しくはFAXにてお届け下さい。お問合せも、事務局までお願いします。

## お知らせ

昨年7月に会報60号を発行しましたが、約200通が住所不明で戻ってきました。事務局での調査にも限界がありますので、住所不明の方と同期の役員の方々をお願いして確認を急いでいます。転居の際には、事務局まで必ず住所変更の通知をお願い申し上げます。

甲子園都ホテルの「宿泊」と「飲食」の優待券を、会報60号に同封して送付させていただきました。その優待券の期限が2000年3月31日までと記載されていますが、同ホテルと交渉しまして期限を1年間延長致しました。まだ利用されていない方はそのまま優待券をご利用下さい。また、事務局に優待券を保管していますので、電話・FAX等でご請求を頂ければ、お手許まで郵送させていただきます。

最近、甲陽学院同窓会を名乗り、名簿を出版するとの名目で、同窓生諸氏の勤務先などを問い合わせる「怪電話」がかかっているようです。これは、同窓会・学校とはまったく関係がありませんので、同窓生諸氏におかれましては慎重に対処されるようご注意ください。なお、同窓会としては1997年版「会員名簿」を発行しており、その後あらたな編集作業は行っていません。

## 会報・第62号(今年7月発行予定)の原稿募集

母校の想い出話、母校に関連した俳句・短歌・詩、同窓生人物紹介、「同窓会」・「会報」・「会員総会」への提案・要望・意見・会員だより、クラブOB会・職場甲陽会・甲陽趣味の会、などの原稿を、同窓会事務局までお寄せ下さい。

## 「甲陽だより」編集委員・会員総会運営委員 募集

同窓会活動を支えている二つの実行部隊...「甲陽だより」編集委員・会員総会運営委員を募集しています。編集委員は、年2回発行のこの「甲陽だより」の企画・編集・校正等の会議・作業に参加していただける方です。会員総会運営委員は、夏の「会員総会」の企画立案から運営に携わっていただける方です。ぜひとも多くの方々のご参加を...!

## 封筒下の記号の見方

平成11年12月31日現在での同窓会費の納入状況をご案内しています。

例：終身会員H11年度

卒 1 1 1 1 1 1 0 0 zz

上段には、前納の年度、または、終身会費をお支払い頂いた年度を示しています。その他の場合、この表示はありません。

下段には左から順に、平成元年度、2年度、...11年度の年会費のお支払い状況を示しています。

記号の意味

1	当該年度分の年会費を納入済	z	当該年度に終身会費を納入	甲陽学院に在籍中
0	" 未納	zz	" 新終身会費 "	卒 その年の3月に卒業

従いまして、下段に含まれる0の個数 × 1000円が、未納の年会費となります。同封の振り込み用紙にてお支払いください。

前掲の例の場合：平成元年度まで甲陽に在籍され、平成2年3月の卒業時に、7年分(平成8年度まで)が前納されましたが、平成9、10年度分が未納のため、平成11年度に終身会員となった後にも、2年分2000円の未納が生じていることを示しています。

# 会員だより



原稿は出来る限り400字詰原稿用紙1枚以内にして下さい。原則として原稿(含写真)は返却いたしませんので御了承下さい。

## 11回 甲士会



甲陽中学校第11回卒の私達甲士会は此の第55回を以て納会と決意し、平成11年11月11日11時を期して甲子園都ホテルに集まった。

既に歳も八十路半ば、幸運にも猶生かされてある会員26名中の14名(プラスお付添2名計16名)が嬉々として参集した。三重県四日市市在住の伊丹正彦氏が夫人同伴遠路もものかわ、イの一番乗り、近く芦屋の山上史郎氏もお付添に守られて脚の故障を押して「来たゾ」には思わず感激した。

藤原幹事の挨拶で開会、幽界にある恩師の方々、学友諸兄の御冥福を心底より祈った。

中沢幹事による過ぎ来し思い出の数々等、意外に初耳も多く興深く拝聴した。特に松井佐治郎氏、山上史郎氏等旧幹事諸兄の多年に亘る御世話には改めて深甚なる敬意、謝意を表し上ぐるものである。今日迄甲士会が存続し得たのも故人をも含め諸氏御努力の御蔭であった。

お馴染ポモドールのバイキング料理に存分の舌鼓、その御好意にも甘え実には和気藹々「時」を忘れた。もう14時半は過ぎていた筈。蓋し「友情」も亦不変不朽たるべく、残生も互いに苦楽を分かち合い、願わくば更なる万福をと念じつつ猶も別れを惜しんだ。

当日の出席者(順不同、略敬称)

伊丹正彦・同夫人、山上史郎・同付添、藤原陸彦、中沢栄一、北村隆磨、田澤利夫、田中親七、濱野正男、森田晃、松井佐治郎、三浦喜雄、肥田富太郎、原田暎一、浅尾慶利(以上)

## 18回 山桜会

平成11年7月7日北浜「松乃」にて久方振りに山桜会を開催。出席者は富田幸三郎、森本浩、前田倭男、青山

敏男、貴田忠三でした。(写真向って左より)

4月17日の新聞の別当薫君逝去の記事に我が目を疑った。パリーグ本塁打王第1号43本塁打最優秀選手。選手として数々の成績をあげMVPに輝いた。君は球界の紳士と呼ばれ温厚な性格は私達クラス全員が敬慕する人だった。君が投手として昭和13年8月第24回大会にて、さあこの一戦に勝てば明日は優勝戦だ。甲陽の生徒は一丸となって応援したが準決勝に岐阜商業に3-1にて惜敗した。君も私も海軍士官として、君は比島の第1021航空隊にて、私はボルネオ島(現カリマンタン島)の第22根拠地隊にて激戦だったがお互に九死に一生を得て帰還した。あんなに武運の強かった君も病魔には勝てなかった。沙羅双樹の花の蕾もまだ固い4月16日無情の風に誘われて、幽明境を異にした。御冥福を祈る。(青山 記)

第24回大会 昭和13年8月甲子園球場

2回戦 甲陽中10-0山形中

3回戦 甲陽中3-0鳥取一中

準決勝 岐阜商3-1甲陽中



## 21回 桜組会



平成11年度クラス会は、秋深まる11月18日(木)お馴染のL亭はグルメS子で開催されました。

病後などで常連の2~3名が不参加だったのは残念でしたが、新顔を加えて10名が至極元気な顔で参集しました。

最初に、最遠の加藤兄の音頭で乾杯。その後は例によって話がはずみ思いつき話など時間を忘れての歓談となり

ましたが、後の事もあって適当なところで三本締め、そして恒例の二次会はスナックの方へ移動してこれまた満足するまで古い歌、新しい歌を熱唱、思いは尽きませんが、名残りを惜しみつつ散会となりました。

なお、来年は11月中旬の木曜日(16日?)に開催することを内定。再会を約しつつ家路につきましたが、東京や広島からの兄はその夜甲子園都ホテルに一泊、翌日の帰郷は今年が初めての事でした。ご苦労様!!

(出席者)石田、鍵本、加藤、木村、是近、極楽地、鈴木、別當、横山、長村 (長村 記)

雨と霧の中を車で熱海へ。夕食は最後の夕とあって大いに盛り上がる。どちらかという静かだった勝部が、話題がアメフトになるや俄然学生時代、全国制覇したことを熱っぽく語りだし、キチンの暖簾に首を突っ込んで皆の飲み物の世話までし出したのには、一同呆気にとられた次第。

第3日、うって変わった快晴。熱海駅で東西に別れる。クラス会ではできたら毎年やろうと、参加全員が希望しながら。(中尾 記)

写真は金山宅菊花壇の前で。

左より白石、金山、勝部、木下、森、福地、建内、中尾

## 21回 梅組クラス会 - 江ノ島・箱根を回る



従来、関西以外で行ったことのなかったクラス会を今年(平成11年)は関東で挙行した。

横浜戸塚区に住む「菊博士」金山の丹精の鉢を鑑賞しようとして泊三日の旅となった。

11月4日、尾道から建内、新神戸から勝部、新大阪から木下、中尾、京都から福地が乗車。JR東戸塚から金山宅へ。見事な菊と夫人が陽光のなかに輝いて見えた。間もなく、福岡から空路羽田に着いた森と、出迎いの白石も到着。夫人の心づかいのビールで再会を喜びあう。

まず、鎌倉見物。すっかり観光地化したのに戸惑いながら鶴岡八幡宮にもうでる。780年前、公暁が実朝を殺す前に隠れていたと伝えられる大銀杏は今も健在。

宿は金山の世話で日本鋼管江の島寮。部屋、浴場、食堂とも上等でいうことなし。若者並にビール、酒が弾んだのには驚き。食後は囲碁や懐旧談、時局談に時を忘れる。

第2日はあいにく降り出した雨のなかを小田原から箱根へ。ロープウェイに乗ったときは視界が晴れて小涌谷、大涌谷の硫黄の噴煙、山々の紅葉、一等を奮発してリッチに芦ノ湖の眺望を楽しむ。

元箱根で関所跡を見学。関所破り未遂を見つけたときは、道に迷った「藪入り」扱いにして極刑を極力避けたとは、幕府の役人もなかなかヤルーと一同感心。

## 21回 橘会の報告

平成11年11月7日(日曜日)に、第27回目の橘会を宝塚市逆瀬川の「宝仙花」梅の間で開催しました。床の間は鉄斎「教祖渡海図」の掛け軸、毎年のことながら有馬温泉「中の坊瑞苑」の梶木剛常務差し入れの銘酒「梅錦」もありました。開催に先立って、この一年間に亡くなった大月尋男・出石宗三・鳴岩芳郎・福井庄次郎4君の冥福を祈って黙祷、事務報告のあと乾杯、それぞれが近況報告を兼ねて歓談しました。出席者は写真前列左から井本幸雄・筒井潤・一色皓・羽間重光・船越和幸、後列森岡甲子男・犬伏佳郎・林信男・遊佐英一・濱口博章・入間田謙佑の11名、最初は13名のはずでしたが、体調の加減で自重する方もあって減少しました。入間田君が夫婦で犬の散歩中、震災に遭遇した体験を語られたのは印象的でした。来年も11月5日の第一日曜日「宝仙花」でと決定しましたので、一年先の予定をお願いします。幹事は引き続き濱口がさせていただきます。

(撮影 入間田君、報告 濱口博章)

(追記)

平成11年11月27日に西松元康君が、12月1日に高橋純平君が亡くなりました。謹んで御冥福をお祈りいたします。



**23回** 芳梅会

昭和19年卒業の梅組クラス会が、芳梅会として正式に発足したのは、昭和38年8月甲子園口の桃源閣、参加者は26名でした。爾来毎年開催され今年は第35回目に当たります。第9回返は諸先生方もお招き申し上げ、深江、谷本、町田、北村、富岡の諸先生方に、ご参加頂きました。第10回より一泊旅行となり、夫人同伴が始まったのは第14回からです。以降毎回数名の夫人参加があり、今では、30名前後の出席者となりました。

芳梅会の誇りとするところは、第1回から第35回迄の資料、集合写真（最近ビデオテープ）を保存していることです。カメラ担当の石上兄の尽力によるもので、欠席者にもビデオを回覧して雰囲気を楽しんで頂いております。又サブ組織として阪神並びに東京芳梅会があって夫々の活動をしております。平成7年阪神大震災に際しては、東京側がいち早く各地在住の会員に呼びかけ、励ましの言葉や見舞金を代表に託され、その温情が被災地会員の心を和らげ、精神的立直りのきっかけとなりました。

平成11年度芳梅会は、倉敷～鷺羽山（9/27～28）で実施。今迄は温泉地、各所旧跡での開催が続きましたが、今回は大原美術館と重要文化財大橋家住宅（級友大橋兄は第8代当主）の見学を、とり入れました。参加者は男性23名女性6名と相変らずの盛況でした。美術館では別室で副館長原氏より、大原孫三郎の夢と情熱、先見性、モネ「睡蓮」マチス「画家の娘」グレコ「受胎告知」等々の解説をして頂き、又大橋家住宅では、同家の歴史と偉業の説明を受け、非公開の二階迄案内頂き、長屋門を構えた町家、大地主大橋家の往時を偲びました。宿泊地鷺羽グランドホテルに移動、瀬戸内海を一望しつつ、懇親会、二次会と大いに盛り上がり、深更に行きました。翌日は岡山城後楽園、倉敷チボリ公園、四国巡礼と希望コースに別れ三々五々解散しました。

既に物故会員12名を数えますが、何時迄も健康で、芳梅会が継続できることを、念願しております。

（土井省吾 記）

**24回** 学年同窓会

明石海峡大橋が、一望に開けます「舞子ピラ」に於て、6月26日（土）一泊しての懇親の夕べを開催致しました。南方龍雄氏（橘組）の総司会にて、先ず先生方を含む物故者への黙禱に始まり、比留井博氏（李組）の開会の挨拶のあと、植田悟郎氏（桜組）の乾杯の音頭で宴が始まりました。青春時代を懐しみ思い出話から近況報告まで時間がいくらあっても足りないようでした。

校歌及び応援歌、大合唱のあと、奥田修氏（桃組）の

閉会の辞でやっと終わる事が出来ました。

私達は2年に一度開催して参りましたが、今回はロケーションが良過ぎたのか、人数が前回より少なくなりました。どうか同期の方、次回には初めての参加の方が多くなりますようお願い申し上げます。（小林（桜組）記）参加者、桜組7名、桃組4名、梅組6名、李組5名、橘組8名、合計30名。

**25回** 桜組クラス会

平成11年度桜組クラス会を平成11年10月16日（土）錦織達郎さんのご盡力により関西電力中之島プラザで開催しました。

本年は17名の出席でありました。遠く鶴岡から小田圭昭さん、宮崎から山本喜典さん、及び目が不自由で暫く参加されていなかった小島昭三さんが家島から久々の参加でありました。

平成11年初頭に逝去された山中保さんのご霊前に、クラス会の名前でご香料をお供えし、謹んでご冥福をお祈り申し上げた事が報告されました。又、常念寺住職の瑞穂光信さんから、ミャンマー（旧ビルマ）には貧しさのため、学校が不足している処もあり、仏教徒として「ミャンマーに学校をたてる会」を設立して居られ、席上その趣旨説明があり、出席者全員から1人1,000円宛寄付を致しました。更に、小島昭三さんは愛吟の一節を披露されるなど、和気あいあいの中で楽しい一刻を過ごし、最後は、恒例の如く校歌及び応援歌の大合唱で締めくくり、来年2000年での再会を約束して散会しました。

来年のクラス会は、平成12年10月下旬の土曜日に、本年と同じく関西電力中之島プラザで開催を予定して居り



ますので、数多くの会員の参加を期待して居ります。

当日の出席者、大川四津雄、大内昭吾、河村郁夫、小島昭三、三田健一朗、小田圭昭、中田恵之、錦織達郎、波々部憲作、松浦守、宮原昇一、瑞穂光信、山本喜典、渡辺正雄、根本博、余部光男、安達正昭、以上17名でした。追記：寺田晁さんと小田圭昭さんは、本年9月、他の2名の共同研究執筆者と4名連名で「漆 - その科学と実技」と云う労作を出版されました。(安達 記)

## 26・27回 梅組クラス会

平成11年12月11日夕方より、三宮リクルートビル「木曾路」にて忘年会を持ちました。あとルミナリエを直前にひかえて盛上がる三宮のネオン街に繰出し、クラブバーでのカラオケ合戦で今世紀の有終の美を飾りました。今年は今回だけの集いで終わりましたが、例年は夫婦同伴の小旅行等を含み年2・3回の集りを持っております。

卒業後50年以上を過ぎ古希を前後する齢に達しておりますが、次世紀に向けての新しい意欲に全員燃えております。遠路平塚から大島君、富士宮からの衣手夫婦の出席者は、同窓会の優待券を利用して頂き甲子園都ホテルに宿泊した事は勿論です。謝意を表しておきます。(衣手 記)

当日出席者 左から小竹、浜本、梅垣(幹事)毛利(幹事)上枝、三宅、千田、大島、天野、衣手夫妻



## 29・31回 同期会

母校・甲陽の学び舎を卒業して1900年代最後の同窓会を、昨年11月27日(土)に例年のおり梅田の新阪急ホテルで行った。集う仲間は40名余であった。我々仲間の合い言葉は「ネバーギブアップ!どんな時にも明るく楽しく!」である。青春時代に出会った仲間たちと築いてきたこの心意気は、我々仲間の常に力強い武器であり心の支えであった。この合い言葉を胸に、卒業後の人生を戦い乗り越えてきたが、あの懐かしい甲子園の学び舎を巣立って、もう今年は50年の節目を迎えることになった。

卒業50周年記念同期会は、秋酣の10月28日(土)に開催の予定であるが、これを盛大な意義ある集いにすべく、

幹事連と知恵を絞りその企画を練っている。40周年の記念同期会は、総勢120名のうち90名が参加した。今回はこの記録を破るべく、幹事連と頑張りを誓い合っている。

関東での同期会も、「甲東会」の名前で毎年2回の集まりを持っている。今年は2月に赤坂での新年会を、8月には富士の裾野でのゴルフ会を計画しており、関西からも毎年のことであるが、この集いに参加し東西の結束を誇っている。(チャーリー記)

## 50回 同窓会

平成11年8月14日、お盆の最中の土曜日に、大阪のホテル阪急インターナショナルで、学年全体の同窓会を開きました。六年間お世話になった藤野吉平先生をお招きし、42名の同窓生が集いました。私達の学年は、1950年生まれ(早生まれは1951年)、甲陽50回生、夏の甲子園大会も第50回と区切りのよい学年ですが、インパクトの強い点は、学園紛争で東京大学の入試が中止になった年の卒業生です(東大卒の同窓生も何名かいますが)。

卒後年を経るにつれ、クラス単位の同窓会では出席人数が少なく、D組+B組、次に+C組、最後にA組が加わり、合同の同窓会として3回目になります。

昔の面影が全くなく名前を聞くまで想像すら出来なかった人、官僚、公務員、医者、大学教授、弁護士、社長や部長など日頃は威厳のある立場の者ですが、同窓会となると別物で、昔話に花が咲き、近況報告でも結婚式のスピーチのように延々と話すものが続出しました。日頃のストレスを吹き飛ばすかのように話が弾み、30名が2次会に集まり、5時間にもわたり語り合いました。最後は衆人環視の中、恒例の学院歌斉唱をしてお開きとなりました。

今回の開催は50歳の年、そして我々中年男性が粗大ゴミ(?)となる年末の2000年12月30日(土)の予定です。場所は未定ですが、懐かしい同窓生に会えると思いますので、ぜひ参加して下さい。

幹事 篠原慶希

565-0873 大阪府吹田市藤白台2-11-10

TEL・FAX06-6831-3546



## 『年寄りサッカー』の現況

水野 隆(旧姓徳弘、29回)

同窓会専務理事を務められる同期の有田和男氏から、度々、同窓会や同期会のご案内を戴きながら、いつも『年寄りサッカー』を理由に欠席させていただいてきた所、今度は[『年寄りサッカー』の現状について『甲陽だより』に投稿願います]との依頼を、同じ『年寄りサッカー』仲間の中村貞三氏(35回)を通じていただきました。私にとっては大変不得手な仕事であり、またその器でもないで、しばし躊躇しましたが、現在私たちの所属する『西日本OBサッカー連盟』は昭和48年(1973)に、伝統ある神戸フットボールクラブを中心に発足し、その創設に尽力されたメンバーの1人に、甲陽サッカーの大先輩で、ベルリンオリンピック出場の西邑昌一氏(昭和5年卒故人)が居られることを思いだし、同窓会の皆さんにご紹介することも意義なきことではないと思い、ペンを取った次第です。

故西邑氏は、昭和31年から関西学院大監督として8年間、関学を関西学生リーグはもとより、東西王座決定戦でも優勝の成績を残され、関学クラブを率いて天皇杯も獲得され名伯楽の名を欲しいままにされた監督でした。今でこそ、「リーグ・ワールドカップとサッカーもやっ」とピックスポーツの仲間入りを果たしましたが、私がボールを蹴りはじめたのは昭和21年(終戦の翌年)の4月、『蹴球』と言っても『サッカー』と言っても、わかってくれる人は少なく、部員も11名に満たず、寂しい思いをしたことを思い出します。

戦争末期は甲陽中学校の校舎は、陸軍砲部隊の兵舎となり、戦後はアメリカ進駐軍に一部接収され、言わば戦争という歴史の谷間に中学時代を過ごしたことになりますが、今尚、ボールを蹴り続けている私達にとって、戦後の日本の荒廃、そして復興・発展の歴史はそのままサッカーの歴史でもあります。

前置きはこれぐらいにして、本題の『年寄りサッカー』ですが、現在西日本OBサッカー連盟には、九州・四国・関西・中部に亙って46チームが登録され、40歳以上(B)、50歳以上(A)、60歳以上(V)、70歳以上(SV)

と年齢別に区分され、ゲームを行うときのパンツの色を(B)は黄色、(A)はオレンジ色、(V)は赤、(SV)は70歳台銀、80歳台金と、年代がパンツの色で識別され、ゲーム中は上位のパンツのプレーには『敬意を表する』と言う暗黙のルールがあり、体が動かなくとも、グラウンドに立つ喜びをお互いに尊重することをモットーにしています。

99年度の会員名簿には私の知る限り、甲陽OBでは殿村和祥氏(24回)光野昭氏(27回)中村貞三氏(35回)小生(31回)が登録されています。或いは『俺も甲陽だ』と言う方が居られるかも知れません。

現在私の所属する『名古屋500クロウズクラブ』(会員85名)には、中学時代、敵、味方でプレーした芦屋中学出身の小松嘉久氏(慶応OB)が居られ、50年以上の昔を偲びながら、共にサッカーを楽しんでいます。50年ぶりとなると、お互いに一度顔を合わせただけでは、双方ともに認め合えず、何回かゲームで顔を合わせるうちに『ひょっとして、あんた 中学(大学)の 君と違いますか?』とゲームを忘れて感激し合う光景も珍しくありません。

高齢化が進み、その対策や、介護制度などが世論を賑わせていますが、厚生省の音頭取りで『ねんりんピック』という60歳以上の全国スポーツ大会が国体のように、全国の都道府県の持ち回りで開催され、小生も愛知県チームの一員として参加していますが、国や地方の財政難の折り「年寄りのためのこんな行事に金を使わなくても…」と大会のお世話をされてる役人さんに話すと「いやいや、高齢者に対する医療費負担に比べれば、微々たるものですよ。むしろ、もっと健康なスポーツ老人が増える事を願ってます」と嬉しい答えが返ってきました。

これからも『生涯現役』を旗印に、ドリブルで墓場にたどり着くまでボールを蹴り続けるつもりです。同時に甲陽現役のサッカー部のご健闘を祈ってます。

同窓会の皆さんお元気です!!

### 筆者紹介

水野氏は関西学院大4年時、(昭和28年)ドイツ・ドルトムントで開かれた第1回ユニバーシアード大会に前日本サッカー協会会長長沼健氏・現会長岡野俊一郎氏らとともに日本代表として出場され、以後アジア大会・多数の国際試合に全日本代表として長年活躍されました。現名古屋500クロウズクラブ会長。

## 甲陽教育研究会の集い

平成11年度の定例会が9月26日夕刻から神戸市灘区の六甲山ホテルで開かれ、約20名が集い、中島久先生も御出席下さいました。

少子化傾向、景気低迷の影響が及ぶ近況報告の中、お互いに出席できた「しあわせ」をかみしめ、新たな展望を開く事を心に誓って散会しました。

尚、当会では教育関係に携わる方々の参加をお待ちしています。(前川 記)

問合せ先 柏木康雄(46回)

〒596-0825 岸和田市土生町728

TEL.0724-26-2963





# 母校の校歌・応援歌

忘れ去っていた母校の校歌・応援歌の古い小冊子が、第21回の濱口博章氏のご好意で、昨年の会員総会会場に展示された。この小冊子の発行は昭和10年4月1日で、発行所は「甲陽中学応援部」(編集兼発行人・田邊啓俊)となっている。

その内容は、大正7年から昭和8年までの校歌と応援歌と寮歌である。残念なことに歌詞は残っているが、曲が判らない。その頃に青春を謳歌された先輩の方々に、どのような曲であったかを聞けば、多分他校の - 例えば一高・慶應・早稲田等の応援歌の曲に合わせて歌ったと思う、とのことである。何方か曲をご存じの先輩が居られましたら、お教えを頂ければと思います。

この小冊子の歌詞が、これで途切れることなく、再び同窓生の脳裏に甦り、また後輩諸氏に受け継いで歌って貰えれば、どんなに嬉しく楽しいことであるか判りません。この小冊子に記載されている歌詞は38点あります。誌面の都合で一挙に掲載は出来ませんので、今後幾度かに分けて掲載いたしますので、これらの歌詞の歴史・由来などご存じの方が居られましたら、事務局まで原稿をお寄せ頂ければ有り難く存じます。

## 1. 応援歌(其の一)..... [大正七年]

(藪重臣氏 作歌選曲)

一、山紫に水澄みて 松は常盤の色深く  
岸に銀波の花匂ふ わが甲陽の壘高し

二、昇る朝日を身に浴びて 威風堂々陣に立つ  
わが甲陽の健男児 齒向ふ敵のあるべしや

三、来たれ来れいざ来たれ 敵の強きはわが誉  
かねて鍛へしこの腕 目にも見せん證せん  
(フレー甲陽フレー甲陽フレーフレーフレー...)

## 2. 応援歌(其の二)..... [大正七年]

(平田外喜二郎君 作歌選曲)

一、行交ふ雲の脚早く 戦雲今や酣に  
雌雄を決すは今なるぞ 振へわれらが健男児

二、彼に項羽の勇あるも 我に孫呉の略あれば  
いかで恐れん彼の敵を 振へわれらが野球團

三、猛虎一たび嘯けば 曠野の草にひれ伏して  
あわれみを乞ふ群獣の その状態を今ぞ見る  
(フレー甲陽フレー甲陽フレーフレーフレー...)

## 3. 応援歌(其の三)

戦はんかな時期至る 戦はんかな時期至る  
戦はんかな時期至る 戦はんかな時期至る  
(フレー甲陽フレー甲陽フレーフレーフレー...)

## 4. 萬歳の歌..... [大正十二年]

(栗山正則氏 選作)

けふもまた・・・木端微塵に打破り  
勝利の桂冠われにあり  
・・・ホイ・・・勝ったぞ・・・勝ったぞ  
萬歳々々萬々歳  
(拍手・・・)

## 5. 甲陽行進曲..... [大正九年]

(木船金雄氏 作歌・榎谷徹蔵氏 選曲)

一、空につらなる六甲の 山の翠を窓にして  
松の葉越にゆきかよふ 帆影もちかき茅渚の海  
「わが甲陽の健男児 わが甲陽の健男児」

二、清き園生にあこがれて 遠く来たりし君なれば  
夕の星のささやきも 若き希望を語るらん  
「わが甲陽の健男児 わが甲陽の健男児」

三、自然のめぐみ人の愛 ひろき光のなかにこそ  
心も身をもすこやかに 自由の子らはそだつなれ  
「わが甲陽の健男児 わが甲陽の健男児」

四、武庫の浦風爽やかに たかき雲路をあふぎつつ  
雄飛の翼やしなはん 健児の眉はかがやけり  
「わが甲陽の健男児 わが甲陽の健男児」  
(フレー甲陽フレー甲陽フレーフレーフレー...)

## 6. 凱旋..... [大正十二年]

(橋本清君 作歌選曲)

勝てり! 勝てり! 我が部の選手は勝てり!!  
六甲の麓は黄昏て 夕日紫紺のきらめきに  
再びきざみし金の文字 それ聞けやれ聞け関の声  
勝てり! 勝てり! 我が部の選手は勝てり!!

## 7. 応援歌(其の四)..... [大正十二年]

(栗山正則氏 選作)

日頃の鍛えし腕の互え 見よあざやかな武者振を  
風は薫るこの原に 今しも手練を表しぬ...  
甲陽の意気高さ...健児の姿  
勝鬨あげん...われらが選手  
(フレー甲陽フレー甲陽フレーフレーフレー...)

\* 歌詞については、小冊子の原文に忠実に記載しました。15ページに「甲陽行進曲の歌詞について」の標題で、濱口博章氏(21回)に一文を寄せていただきました。